

拠出金名: 国際エネルギーフォーラム拠出金

国際機関等名	国際エネルギー・フォーラム常設事務局 (英文名称・略称) Internatinal Energy Forum Secretariat (IEFS)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	○その他		
所轄官庁担当局課名	資源エネルギー庁長官官房国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率 ※経済産業省持分						
単 位	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	13,161	123.0		1\$ = 107円	(2005年)	0
平成16年度	41,052	373.2		1\$ = 110円	(2004年)	0
平成15年度	49,971	409.6		1\$ = 122円	(2003年)	0
拠出上位5ヶ国 (特別拠出金含)			国際機関等の財政 (2004年度決算)(特別拠出金含)			
	国 名	(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 2,934,306ドル		
1位	サウジ	456.5	19.6	当該年度の支出 1,686,380ドル		
2位	オランダ	268.9	11.5	次年度への繰越 1,247,926ドル		
3位	日本	205.0	8.8	会計検査機関名		
4位	ドイツ	172.9	7.4	Deloitte & Touche		
5位	ノルウェー	132.0	5.7	Bakr Abulkhair & Co.		
上記の率及び順位は2004年度のもの				(現在の構成員の出身国: サウジ)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>91年以降、産油国、消費国間の相互理解の促進等のために隔年で行われている国際エネルギー・フォーラムは我が国にとって産油国側に対しエネルギー安定供給の確保のために消費国の立場や市場の安定のための取組みに関する理解を求める貴重な場となっている。2002年には我が国は第8回大阪会合のホスト国を務め、同会合で設置が合意された常設事務局の設立運営に関し、我が国は理事会等の場で主導的な役割を果たした。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>主催国との協力の下、フォーラム開催事務の全般を担うべく発足した常設事務局については、2002年秋以降設立準備段階から合理化、機能強化の必要性につき我が国を含む理事会メンバーによる徹底した議論の元で取り組まれており、我が国としてもこれを評価している。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	11人(6月現在) 0.0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
現段階では特になし						